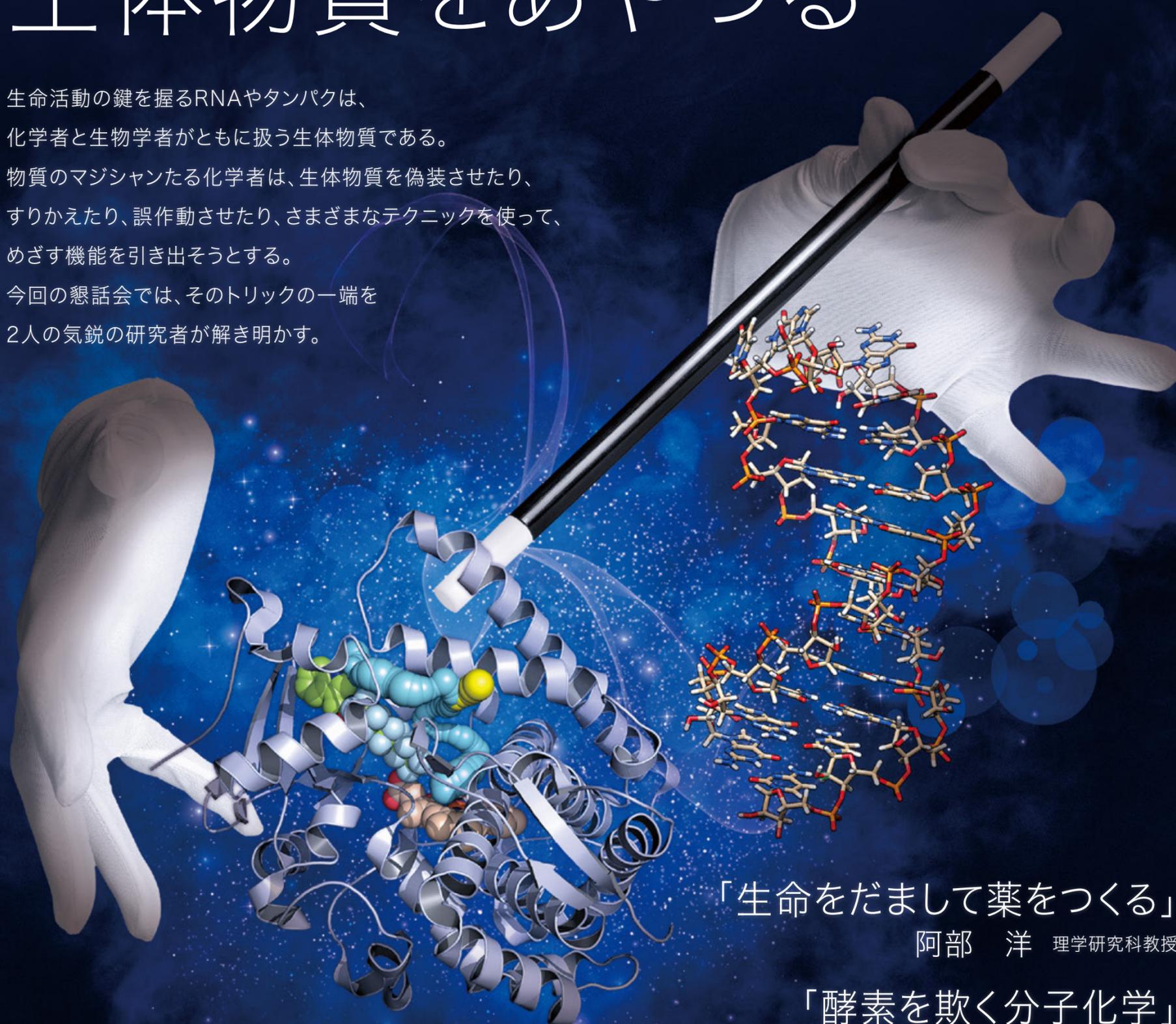


第29回 名古屋大学理学懇話会

化学のマジックが 生体物質をあやつる

生命活動の鍵を握るRNAやタンパクは、
化学者と生物学者がともに扱う生体物質である。
物質のマジシャンたる化学者は、生体物質を偽装させたり、
すりかえたり、誤作動させたり、さまざまなテクニックを使って、
めざす機能を引き出そうとする。
今回の懇話会では、そのトリックの一端を
2人の気鋭の研究者が解き明かす。



「生命をだまして薬をつくる」

阿部 洋 理学研究科教授

「酵素を欺く分子化学」

荘司長三 理学研究科教授

2019年 6/16 日

名古屋大学 理学南館 坂田・平田ホール
(地下鉄名城線名古屋大学駅下車2番出口)

○開場 13:00 / 開演 13:30 - / 終了 16:00

○定員 300名 **入場無料**

高校生のための
サイエンスカフェ in 名大

同日開催 16:15 - 17:30

懇話会終了後、高校生を対象に研究者を囲んで、当日の講演
や科学についてあれこれおしゃべりするサイエンスカフェを
開きます。会費は無料。参加を希望される方は下記まで電話ま
たはメールにてお申し込みください。当日参加も受け付けます。